

平成28年1月13日

「福島大学・うつくしまふくしま未来支援センター主催 名古屋シンポジウム」開催について

東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故から5年を迎えようとしています。福島では、コミュニティーの崩壊、震災関連死、中間貯蔵施設、廃炉、子ども達の孤立化、住民の帰町・帰村、食の安心安全、風評などの課題が未だ解決されていません。しかしながら、すでに、「福島」が風化しているとの声も聞かれます。地震・津波・原発事故という人類が初めて直面する複合震災からの復興に挑む福島が抱える課題は、これからの日本が21世紀を切り拓き持続可能な社会を創造する上でも重要な課題です。これを時間の経過の中に埋没させ「風化」させることは、人類の未来を拓こうとする一つの扉を見失うことにも等しく、こうした「風化」を看過することはできません。今回のシンポジウムにおいては、今の福島を中京圏の方々に正しく伝えることにより、福島の経験を「復興知・支援知」として活かし、これからの地方創生に繋げていくことを目的に開催いたします。

日 時：平成28年3月5日（土）13：00～17：30

会 場：愛知大学 車道キャンパス コンベンションホール
（名古屋市東区筒井二丁目10-31）

【タイトル】

ほんとの空が戻る日まで

-震災・原発事故から5年を迎える福島を考える-

【プログラム】

I 部 鼎談

「悲しみを乗り越え前に進む子ども達、進めずにいる子ども達」

登壇者

堀下 さゆり氏 シンガーソングライター

中田 スウラ うつくしまふくしま未来支援センター長

本多 環 うつくしまふくしま未来支援センター特任教授

Ⅱ 部 福島の現状報告

Ⅲ 部 パネルディスカッション

「-震災・原発事故から5年を迎える福島を考える-」

モデレーター 山川 充夫氏 帝京大学経済学部教授(福島大学名誉教授)

パネリスト 松本 幸英氏 檜葉町長

林 由美子氏 タカラ印刷株式会社 取締役会長

土屋 葉氏 愛知大学 文学部准教授

天野 和彦 うつくしまふくしま未来支援センター

客員准教授

- 参加対象者 一般市民、大学関係者、学生、行政職員、福島県から避難している方 他
参加費無料
- 主催 国立大学法人福島大学、福島大学うつくしまふくしま未来支援センター
共催 愛知大学、愛知大学中部地方産業研究所
後援(予定) 文部科学省、復興庁、福島県、双葉地方町村会、
公益社団法人経済同友会 他

(お問い合わせ先)

うつくしまふくしま未来支援センター事務室

電話 : 024-504-2865

E-mail: fure@adb.fukushima-u.ac.jp